

来賓挨拶Ⅱ

名古屋市 住宅都市局 局長 黒田 昌義氏

本日はエリアマネジメントシンポジウム 2016 in 名古屋に全国の沢山のまちづくり関係者の方々にご参加されまして盛大に開催されましたことを心よりお喜び申し上げます。また名古屋におきまして、札幌、仙台と続いて今年初めてシンポジウムを開催して頂きまして、主催者であります実行委員会の西川委員長、小林先生、保井先生、共催の京都大学御手洗先生、光亜興産様、関係者の皆様には厚く御礼を申し上げたいと思います。

さて名古屋は 100m 道路に代表されるように充実したインフラを有し産業都市として発展してきました。戦後、名古屋では石川栄耀さんが都市計画に携わり組合区画整理事業を立ち上げ、現在名古屋の市街地の 60%近くがこの組合区画整理事業で整備されています。

歴史的にみても、民間主体の不動産経営が非常に上手になされてきた土地であります。現在、名古屋駅を中心として国家的プロジェクトである、リニア中央新幹線の建設が進められています。その影響もあって、名古屋駅周辺には大きなビルが毎年のように建っています。

名古屋はハード整備を早い段階からやってきており非常に充実してはいますが、その一方で地域の魅力や歴史・文化、民間による賑わいや憩いといった空間づくり、ソフトのまちづくりについてまだまだ課題が山積している状況です。

本日のシンポジウムのテーマでもあるエリアマネジメントは、都市の基盤整備であるハードと賑わいであるソフトをトータルにつなげて、まちを活性化するものであります。そのために地域と行政の方々、民間の事業者の方々がより緊密に公民連携するという取り組みであると考えています。

名古屋では近年、民間による公共的なまちづくり活動が見られていませんでしたがリニア中央新幹線建設に伴い、名古屋駅地区街づくり協議会の活動が活発に行われており、またその動き、民のネットワークが他の地域にも波及しているところです。地元名古屋市としても、こうした地元のまちづくり関係者の方々としっかり連携・協力し、ネットワークの一員として名古屋におけるエリアマネジメントの推進に積極的に取り組んで参りたいと考えています。

本日のシンポジウムが実り多きものになりますことを祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。